

## 生徒の皆さんへ

長い臨時休業の期間がようやく終わり、授業再開の日を迎えることができました。この間、皆さんは、ステイホームのかけ声のもと、友達と会うことも控え、郵送された課題や慣れない動画配信での学習に取り組んでくれました。また、「校長からの課題」にも、しっかりと答えてくれました。そのような、皆さん一人ひとりの努力の結果、新型コロナウイルス感染症拡大の第一波を何とか押さえ込むことができ、緊急事態宣言も解除され、町には、いつもの風景が戻りつつあります。

しかしながら、ここはゴールではなく、本当の終息に向けた長いレースのスタートに過ぎません。これからのレースは、決して孤独に走るレースではなく、団体に挑むレースです。本日、皆さんにお示ししている「新たな行動様式」を正しく理解し、仲間たちと協力し、励まし合いながら、引き続き自らの命と大切な人の命を守るための生活に努めてほしいと思います。例えば、今まで、昼食の時間は、友人たちとの楽しい会話の時間でもありましたが、これからは、マスクを外して食事をするときには、友人と会話をする事なく、静かに摂ることになります。また、人との間隔に常に注意し、最低1メートルの距離をとる生活を心がけてもらいます。授業においても、先生方の声は小さくなり、聞こえにくいことも想定されます。静かな環境をつくるよう心がけましょう。

来週からは、様々な制約はあるものの、ようやく部活動が再開されます。高校生活でかけがえの無い仲間をつくり、この難局を励まし合いながら乗り越えていくためにも、1、2、3年生とも、積極的に部活動に加入してほしいと思います。

しかし、皆さんが、懸命に感染防止に努力をしても、感染してしまう場合もあります。でも、その際に感染した人が責められるものではありません。授業の遅れも気になるかもしれませんが、もし、体調が悪いときには隠すことなく、安心して学校に連絡し、休養をとってください。

教職員一同、皆さんとともに、この未曾有の困難を協力して乗り越えていきたいと思っています。コロナウイルス感染症の終息が宣言される日まで、ともに頑張っていきましょう。

令和2年6月1日

京都府立向陽高等学校 校長 遠山 秀史